

令和5年度



園だより



文京区立根津幼稚園

新たな環境で充実の二学期がスタート

園長 小島 喜代美

長かった夏休みを終え、いよいよ二学期がスタートしました。久しぶりに先生や友達と再会したことを喜び、園内には子どもたちの元気な声が響いています。長期休業があったことで、気持ちも新たになり、心も体もひと回り大きくなったように感じます。

今年の夏も猛暑が続き、熱中症警戒アラートが発令されたり、暑さで寝苦しい夜が続いたりなど、体調管理も難しかったのではないのでしょうか。ご家庭では、どのような夏休みを過ごされましたか。子どもたちからの話を聞いたり、『なつのおもいで』を読んだりすることを楽しみにしています。

幼稚園では、夏休み中も「おひさまルーム」（預かり保育）に登園する子どもたちもいるため、健康に楽しく過ごせるように心掛けてきました。暑さ指数（WBGT）を測り、水遊び、プール遊びも木陰で楽しめるようにしました。暑過ぎて室内遊びをすることも多く、3歳児、4歳児、5歳児と一緒に遊べるよう、新聞紙を使った遊びを工夫したり、根津小学校の体育館をお借りして体を動かして遊んだりできるようにしました。

そして、今年の夏は根津小学校の工事が入り、根津幼稚園でも、兼ねてより床工事をお願いしていた3歳児りす組保育室と資材室（教材室）も急遽工事を行っていただけることとなり、教職員で室内の物品を大移動しました。資材室の棚は、開園当初からのスチール棚をはじめ様々な棚類が老朽化。根津小学校で廃棄する予定のスチール棚をいただき、幼稚園の主事チームでピカピカに磨きを掛け、再利用できるようになりました。日頃の保育の中で、様々な教材を出し入れしやすく、使いやすいよう資材室を整理しました。幼稚園の教育にとって、教材は幼児の遊びや学びの核となる大切なものです。

本年度は、文京区教育研究協力園（1年次）として研究主題「幼児の遊びを引き出す環境構成の工夫～空間の活用方法を探る～」を設定し、研究を進めています。3歳児りす組の保育室もこれまでのロッカーから新たなロッカーに変わり（ロッカーは後日、設置されます）、室内のレイアウトも大きく変化しました。各保育室、廊下、園庭・校庭、遊戯室、絵本の部屋、そして体育館や屋上など、根津小学校と併設の施設であるからこそ恵まれた環境にあることに感謝し、子どもたちが自分の考えたことを楽しめるように環境の構成を工夫してまいります。

二学期も未来を担う子どもたちの豊かな心と体を育むために、保護者、地域の皆様と共に、教職員一同、幼稚園の教育の充実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



新しい床になり、明るくなった3歳児りす組保育室、ロッカーも子どもたちが使いやすくなります。



新しい床や棚になり、明るくなった資材室、パイプ椅子も可動式の収納棚で使いやすくなりました。

